

国会公契第1号
国官技第44号
国北予第4号
令和8年4月28日

各 地 方 整 備 局 総 務 部 長 殿
企 画 部 長 殿
北 海 道 開 発 局 事 業 振 興 部 長 殿
国 土 技 術 政 策 総 合 研 究 所 総 務 部 長 殿
国 土 地 理 院 総 務 部 長 殿
企 画 部 長 殿
沖 縄 総 合 事 務 局 開 発 建 設 部 長 殿

大 臣 官 房 会 計 課 長
技 術 調 査 課 長
北 海 道 局 予 算 課 長
(公 印 省 略)

総合評価落札方式における猛暑対策の取組評価の試行について

建設業は、社会資本整備や災害時の応急復旧など重要な役割を担っており、将来にわたって建設業の担い手を確保するためには、他産業と遜色のない労働条件・労働環境を実現させるため、更なる向上・改善が求められている。

そのような中、猛暑対策として、国土交通省直轄土木工事においては、発注段階における猛暑日を考慮した工期設定、熱中症対策に係る経費の精算、i-Construction 2.0 による遠隔施工の促進等を実施している。一方、近年、夏の猛暑は厳しさを増し、今後も続くと想定されることから、厳しい作業環境に対応するため、地域の実情を踏まえ、最新の知見・技術を総動員した多様な働き方が必要となる。

このため、国土交通省直轄土木工事（港湾空港関係を除く。）の総合評価落札方式の技術提案評価型 S 型の技術提案において、猛暑対策に資する技術提案テーマを設定し、競争参加者から、施工方法・施工計画の工夫による作業環境の改善に関する技術提案を求めて評価する試行を実施することとし、別添のとおり要領を定めたので通知する。貴職におかれては、本試行も含め、現場における猛暑対策の推進に取り組みたい。

総合評価落札方式における猛暑対策の取組評価 試行要領

本試行は、国土交通省直轄土木工事（港湾空港関係を除く。）のうち、分任支出負担行為担当官が発注する工事（以下、「分任官工事」という。）等、猛暑対策の効果が大きいと想定される工事等において、総合評価落札方式の技術提案評価型S型を適用することで実施することとし、以下のとおり試行を実施する。

1. 実施目的

総合評価落札方式の技術提案評価型S型は、「国土交通省直轄工事における総合評価落札方式の運用ガイドライン」（2023年3月）に規定されており、施工上の特定の技術的課題等に関する施工上の工夫等の技術提案を求め、企業の優れた技術力の活用や公共工事の品質向上を期待するものである。本試行は分任官工事等において、施工の効率化等による猛暑対策等に関する技術提案テーマを設定し、競争参加者から、施工方法・施工計画の工夫による作業環境の改善に関する技術提案を求めて評価することで、猛暑対策の取組を推進させることを目的とする。

2. 対象工事

本試行は国土交通省直轄土木工事（港湾空港関係を除く。）のうち、以下の条件のいずれかに当てはまるものを対象に行う。

- ・入札参加者が多く見込まれる工事
- ・屋外での作業が多いなど、猛暑対策の効果が大きいと想定される工事

3. 実施方法

技術提案評価型S型においては、工事目的物の性能・機能の向上や環境対策等のテーマ（以下、「従来の技術提案テーマ」という。）を1～2つ設定し、各々のテーマに関して複数の技術提案を求めている。

本試行では、猛暑対策に関する技術提案テーマを1つ設定し、施工上の工夫等の技術提案を求めるものとする。また、技術提案テーマを2つ設定する場合は、従来の技術提案テーマ1つに加え、猛暑対策に関する技術提案テーマを1つ設定し、施工上の工夫等に関する技術提案を求めるものとする。技術提案テーマは下記の例を参考に、工事の内容等に応じて適切に設定する。

<技術提案テーマ（例）>

- ・猛暑期間での施工の効率化に関する工夫とそれにより短縮する猛暑期間での施工時間
- ・猛暑期間での施工現場の省人化に関する工夫とそれにより短縮する猛暑期間での施工時間

競争参加者からの技術提案として、技術提案テーマに対する具体的な方法を示した提案と、その提案による効果または提案実施時の絶対量（以下、「効果等」という。）を最低限求めるものとする。効果等は原則として定量的なものとし、客観的なデータに基づくものとする。なお、その算出根拠が提示されない場合は評価しない。提案による効果については、当該提案を実施しない場合の基準値を明確に示させ、比較対象が明らかになるようにするものとする。

また、通常の技術提案時に入札説明書へ記載している内容と同様に、落札決定者が提案時に示した効果等については、工事成績評定時に達成できているかの確認を行い、提案時に示した効果等が達成できなかった場合は工事成績で減点することとする。なお、受注者の責めに帰すことができない事由により達成ができなかった場合や冷夏等の理由により猛暑対策を実施する必要がなかった場合は、その限りではない。

なお、既に同様の試行等を実施している場合には、その実施内容および取組の継続性等に留意して本試行を実施することとする。また、「総合評価落札方式における生産性向上の取組評価の試行について（令和3年11月15日付け国会公契第32号、国官技第202号、国北予第37号）」による試行を実施する場合は、本試行は原則実施しないこととする。加えて、従来の技術提案テーマと猛暑対策に関する技術提案テーマについて、テーマ内容に重複がないよう留意する。なお、落札者が技術提案で記載した提案内容は、精算時の費用計上の対象外となる旨を入札説明書に記載すること。

競争参加者から提出される技術提案の評価方法の例は以下のとおりである。

<評価方法（例）>

提出された技術提案を段階的に評価し加点する。

- ・適切性や履行の確実性を非常に高く評価できる場合は「満点」の加点とする。
- ・適切性や履行の確実性を高く評価できる場合は「50%」の加点とする。
- ・適切性や履行の確実性をある程度評価できる場合は「0点より大きい最低点」の加点とする。ただし、加点対象として評価しない場合は「加点なし」とする。

また、猛暑対策の効果が大きい技術提案を求める観点から、施工時間の短縮等、定量的な効果等については以下の例により評価することも可能とする。

<定量的な効果等の評価方法（例）>

定量的な効果等については、段階的に加点する。

- ・最も優れている場合は「満点」の加点とする。
- ・最も優れていない場合は「0点より大きい最低点」の加点とする。
- ・その他は以下のように加点する。

優れている順の上位○%以内 *点

優れている順の上位○%以下 *点

なお、評価方法の設定に関し、疑義等が生じた場合には、個別に大臣官房技術調査

課に連絡されたい。

本試行を実施する工事については、本試行対象工事である旨を入札公告及び入札説明書に明記すること。

【入札公告】記載例（技術提案テーマが1つの場合）

『(番号) 工事概要』に以下を追記する。

(番号) 本工事は、施工の効率化等による猛暑対策に関する技術提案テーマを設定し、猛暑対策の取組を評価する試行対象工事である。

【入札公告】記載例（技術提案テーマが2つの場合）

『(番号) 工事概要』に以下を追記する。

(番号) 本工事は、工事の品質確保等に関する技術提案テーマに加えて、施工の効率化等による猛暑対策に関する技術提案テーマを設定し、猛暑対策の取組を評価する試行対象工事である。

【入札説明書】記載例

『(番号) 工事概要』に以下を追記する。

(番号) 本工事は、施工の効率化等による猛暑対策に関する技術提案テーマを設定し、猛暑対策の取組を評価する試行対象工事である。

『(番号) 総合評価に関する事項』に以下を追記する。

(番号) 評価基準

〔〇〇 (※1)〕の技術提案テーマに関し、以下の2項目についての技術提案を必ず記載すること。

〔・〇〇

・〇〇 (※2)〕

効果等は客観的なデータに基づくものとし、その算出根拠が提示されない場合は評価しない。

なお、効果に関しては、当該技術提案を実施しない場合の基準値を明確に示し、提案による効果との比較が行えるようにすること。(※3)

また、提案が本工事において達成できたかどうか、完成検査までに示すこと。

【具体的な方法の評価について】

〔〇〇（※1）〕の技術提案テーマに関する技術提案内容のうち、具体的な方法の評価基準は以下のとおりとし、提案に対する適切性や履行の確実性を評価する。なお、技術提案で記載した内容は、精算時の費用計上の対象外となる。

技術提案	評価内容
ー適切性や履行の確実性を非常に高く評価できる場合	*点（満点）
ー適切性や履行の確実性を高く評価できる場合	*点（50%の評価）
ー適切性や履行の確実性をある程度評価できる場合	*点（最低評価）

【定量的な効果等について】

〔〇〇（※1）〕の技術提案テーマに関する技術提案内容のうち、効果等の評価基準は以下のとおりとする。

効果	評価内容
ー最も優れている場合	*点（満点）
ー最も優れていない場合	*点（最低評価）
ーそれ以外の値を記載した場合	
優れている順の上位〇%以内	*点
優れている順の上位〇%以下	*点

（※1）以下の技術提案テーマ（例）を踏まえ、1テーマを記載

- ・猛暑下での施工の効率化に関する工夫とそれにより短縮する猛暑下での施工時間
- ・猛暑下での施工現場の省人化に関する工夫とそれにより短縮する猛暑下での施工時間

（※2）技術提案テーマに対する具体的な方法を示した提案とその効果等について、下記の例を参考に、工事の内容等に応じて適切に設定する。

【具体的な方法を示した提案】

- ・〔〇〇（工種）〕に関する総施工時間を短縮するための具体的な提案
- ・〔〇〇（工種）〕に関する猛暑期間（〇月～△月）の施工時間を短縮するための具体的な提案
- ・〔〇〇（工種）〕に関する施工時期の調整方法の具体的な提案

【効果等】

- ・上記に係る提案による短縮可能な施工時間
- ・上記に係る提案により猛暑期間（〇月～△月）に短縮可能な施工日数
- ・上記に係る提案による猛暑期間（〇月～△月）の施工日数

（※3）提案による効果を求め、当該提案を実施しない場合との比較により評価する場合は記載。